

爽やかな歌声と感謝の言葉を残し、

卒業生たちは巣立っていきました。

3月7日(火)、西陵中学校3年生68名は卒業の日を迎えました。

厳粛な雰囲気の中、体育館入場、開式のことば、国歌・校歌斉唱、卒業証書授与、学校長式辞・・・と式は進行していきました。

答辞では、卒業生代表が

「(前略)最高の68名の仲間たち・・・。毎日笑ったり泣いたり時にはケンカする日もあった。悪いことをして先生におこられる日もあった。そんな日々が何よりも幸せだった。やっぱりさびしい・・・。このままいっしょにいたい。そんな思いもあります。それでも前へ進まなければなりません。つらいこと。苦しいこと。大きな壁にぶつかることもあるでしょう。大丈夫。どんな時も前を向けば仲間がいるから。背中を押してくれるから。だから、これから先も、自分らしく、私たちらしく笑っていこう。今まで本当にありがとう。

私たちはこれから先も、1日1日を大切に過ごし、この西陵中学校で学んだたくさんの方を糧に、がんばります。前に進みます。」

と、はっきりと誇りを持って答辞を読み上げました。

卒業生も在校生も、静かに座り、卒業式を一人ひとりが創り上げているかのように感じられました。粛々と時間が流れていく様子は素晴らしいの一言でした。

やがて、式歌合唱となり「そのままの君で」を全校合唱、そして卒業生が「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」を合唱しました。

本当に素晴らしい卒業式でした。来賓の方からも口々にお褒めの言葉を賜りました。



15歳の挑戦！ 県立高校後期受験終わる！

倍率は1.13倍 3月9日(木)

2月27日朝刊に、今年の県立高校後期選抜試験の志願状況が発表されました。1,2年生のみなさんはどれほど興味を持って、この新聞を見たのでしょうか？高校へ行くということは「きちんとした中学生生活を送れた」という根拠のもと、さらなる学習を続けるということです。その学習とは、教科はもちろん、人との接し方、話し方、コミュニケーションの取り方や考え方、行動など生活全てになります。

どの高校でも、どの場所でも自分というものを見失わず、正しい判断のもとに動ける自分であるよう、日頃から自分の行動に目を向ける必要があります。

学校では、進路学習として職業調べや高校調べ、また、職業体験など将来の進路について、少しずつ学習を進めています。しかし、普段からみなさんが、高校や大学・企業・職業などについて関心を持ちガイドブックや新聞を読み、家族や知人から話を聞くなど自らが興味を持って取り組むことが大切です。

「ようこそ先輩！」

3月9日（木）には、キャリア教育の一環として、6校の高校から本校卒業生7名（四日市高等学校2年、四日市四郷高等学校2年、四日市工業高等学校2年、四日市商業高等学校2年、四日市南高等学校2年、神戸高等学校2年）をお迎えして、「高校の自慢話、高校生活の楽しさ、授業内容、活動の様子、取得資格、自分が成長したこと、進路に対する夢、中学生へのメッセージ」について、お話ししていただきました。



生徒感想より

- ・ どの高校でもコツコツ積み上げていくことが大切だと思いました。自分は1日だいたい2時間ぐらいしか勉強していませんけど、何人かの先輩は4時間勉強すると言っていたので、教えていただいた集中する方法などを活用して、もっと勉強時間を増やそうと思いました。個々の学校生活で友達を作るには、自分から話すというのが多かったので、今から知らない人と話す機会があれば、自分から積極的に話そうと思いました。行事はどの高校でも中学より楽しいという事なのでとても楽しみです。また、クラスマッチなど中学にはない行事もあるのでとても楽しみです。今日教えていただいたことを元に、もう一度考えてみたいと思います。
- ・ 私も来月には3年生で、受験生だと思うと少し焦ってきたので、今日のお話はすごくためになったと思う。今まで志望校は大体決めてたけど、これからはそれに向けて勉強していきたくと思った。自分は隙間時間があるとすぐCDとかラジオを聴き始めたり、歌いだしたりという奇行をするので、（そういう時間を見つけるのはよいことだと思うけど）はっきり言うとかかなりムダな時間なので、その時間を、話されたように英単語を覚えたり暗記したりするという時間に少しでも充てようと思った。テスト期間だけ勉強するというスタイル（だけじゃないけど急激に勉強時間が変わる）が抜けないので直したいと思う。とりあえず時間を大切にしたいと思った。
- ・ 先輩たちの話を聞いて、受験生に対する不安が少しなくなった気がした。相手も先生じゃなくて先輩なので、実体験が聞けたり、どんな感じかなどの新鮮な話が聞けたりした。受験に受かった人の勉強法やアドバイスなどを教えてくれたので、少しやる気を出して、集中力がきれたら休けいをはさんだり、簡単な問題から始めて集中させたりして、これからも勉強をがんばっていこうと思った。そして、受験を必ず成功させたいと思った。高校では65分が5限だったり、45分が7限だったりして色々大変そうだけど、先輩たちは中学校と比べてすごく楽しいと言っていたので、高校に入ってから心配も少しなくなって、高校に行きたいと思いました。今のうちから、もう受験生だということを常に意識して勉強をがんばって受験に挑みたい。
- ・ 私は四日市の高校について全然知らなかったけど、先輩方の話を聞いてどんな高校なのか、授業時間、部活のことなどわかりました。高校はやっぱり楽しいんだなと話を聞いて思いました。一番勉強で力をつけた方がいいのが、英語の単語を覚えたり、計算力をつけたりすることだと分かりました。時間がないとしても、すきま時間を少しでもみつけて少しでも多く単語を覚えていきたいなと思いました。また、「きりかえ」というのは、大切だなと思いました。勉強に集中していなかったら、頭にも入らないし、勉強の意味がないので、私もきりかえをしっかりとりたいなと思います。行きたいところに行けるようにがんばります。

- ・ 高校では、文化祭や色々な行事を楽しくすることができるし、部活動もさかんでとても良いなと思いました。勉強では難しくなっていくし、問題も多いとおっしゃっていたので、頑張らないといけないと思いました。先輩の方たちが言っていた英語は単語を覚えるということが大事ということと、数学はハイさん力を身につけることが大事とおっしゃっていたので、自分も先輩が言っていたことを忘れずに勉強を頑張れるようにしていきたいです。もう3年生になるのでしっかり勉強を身につけ、できるようにしたいです。
- ・ 高校って大変なんだなと思いました。だけど、楽しいんだろうなと思いました。文化祭は中学校よりはるかに楽しいと言っていたのでいいなと思いました。時間がないと思っていても、よく探してみるとたくさんあまっていると言っていたので、私もすきま時間を利用していこうかなと思います。英語は単語が大切だと言っていたので、どんどん覚えていこうかなと思います。塾は行っても行かなくてもいいと言っていて、私は言っていないので、塾へ行くこのうらやましさがなくなりました。先輩方からいろんな話を聞いたのでよかったです。
- ・ 今回のようにこそ先輩で各学校の時間割や行事などを分かりやすく教えてもらえて良かったと思いました。中には45分を7限や1限が65分など、中学校より授業時間が長く、高校は中学校より大変だということもよくわかりました。最後に話していた神戸高校の久木元さんが言っていた、中3の時間は短いから1日、1日を大切にがよく心に残りました。もう3週間ぐらいで4月になり3年生になるので、そろそろ受験モードに切り替えていこうと思いました。